

平成29年12月28日

福岡県災害対策本部の災害復旧・復興推進本部への移行について

県では、平成29年7月九州北部豪雨災害に対し、県災害対策本部を設置し、人命救助等の応急対応と被災地の復旧に全力で取り組んできたところです。

今回、大雨等による二次災害の危険性が低下したと認められること、全ての避難所が閉鎖されたこと、みなし仮設住宅等への入居申込みがほぼなくなっていること等、災害応急対策が概ね終了したことを踏まえ、災害対策本部から「災害復旧・復興推進本部」に移行し、被災地の復旧・復興に向けて、引き続き全庁を挙げて取り組んでいきます。

■「平成29年7月九州北部豪雨福岡県災害復旧・復興推進本部」の概要

【移行年月日】

平成30年1月1日

【推進体制】

- ・本部長：知事
- ・副本部長：副知事（3名）
- ・本部長員：各部長、会計管理者、企業局長、教育長、
県警本部長、防災危機管理局長
- ・事務局：防災危機管理局

【取組方針】

「被災者支援チーム」など現行の実施体制を継続しながら、市町村をはじめ関係機関と連携し、全庁一丸となって、被災者の生活支援、商工業者・農林漁業者の事業再開・継続の支援、公共土木施設の復旧等の取組みを推進していきます。

※ 防災危機管理局内に「平成29年7月九州北部豪雨災害警戒本部」を設置し、引き続き、九州北部豪雨に係る二次災害への警戒に当たっていきます。